

## 出エジプト記 4章18節-7章7節 しぶしぶ従う國民

先週の出エジプト記では、神がモーセに御自らを啓示され、神の民をエジプトから導き出すようモーセを召されるのを見ました。しかし、モーセは神の召命から逃げようとし、神の代理人にならないためのあらゆる言い訳を探しました。しかし出エジプト記の次のセクションである今日見ていく4章18節から7章17節までで、モーセは最後には折れて服従します。ここでは、消極的な指導者であるモーセが、神の民に救いのメッセージを伝えますが、その民もまた、神のメッセージを信頼し、従うことに同じように消極的でした。18-20節から読み始めましょう。

出エジプト記 4章 18節 そこでモーセは行って、しゅうとイテロのもとに帰り、彼に言った。「どうか私をエジプトにいる同胞のもとに帰らせ、彼らがまだ生きながらえているかどうか、見させてください。」イテロはモーセに言った。「安心して行きなさい。」 19 主はミディアンでモーセに言われた。「さあ、エジプトに帰れ。あなたのいのちを取ろうとしていた者は、みな死んだ。」 20 そこでモーセは妻や息子たちを連れ、彼らをろばに乗せて、エジプトの地へ帰って行った。モーセは神の杖を手を取った。27 さて、主はアロンに言われた。「荒野に行って、モーセに会え。」彼は行って、神の山でモーセに会い、口づけした。 28 モーセは、自分を遣わすときに主が語られたことばのすべてと、彼に命じられたしるしのすべてを、アロンに告げた。 29 それからモーセとアロンは行って、イスラエルの子らの長老たちをみな集めた。 30 アロンは、主がモーセに語られたことばをみな語り、民の目の前でしるしを行った。

ここでは、最初は神に従うことを渋っていたモーセが従順であることがわかります。羊飼いの杖が重要なのは、神の御言葉をイスラエルの民に、ひいてはファラオに証明するために、神がモーセに与えると告げられた3つの奇跡の鍵となるからでした。羊を導くために使っていたこの杖は、今、彼が神の民を導くためのしるしとなるのです。

しかし、モーセが旅立つ前に、神は実際 21-23節で、モーセがエジプトでどのように過ごすかを正確に告げておられます。

21 主はモーセに言われた。「あなたがエジプトに帰ったら、わたしがあなたの手に授けたすべての不思議を心に留め、それをファラオの前で行え。しかし、わたしが彼の心を頑なにするので、彼は民を去らせない。 22 そのとき、あなたはファラオに言わなければならない。主はこう言われる。『イスラエルはわたしの子、わたしの長子である。 23 わたしはあなたに言う。わたしの子を去らせて、彼らがわたしに仕えるようにせよ。もし去らせるのを拒むなら、見よ、わたしはあなたの子、あなたの長子を殺す。』」

モーセがファラオにイスラエルの民を解放するよう求めたとき、モーセは実際にその通りになる展開を告げました。実際、神はファラオの心を頑なにされるので、民をエジプトから脱出させるためにファラオの心を変えるには、最終的にエジプト人全家の長男まで失う必要があったのでした。このことについては、10の災いを見るとときに詳しく述べますが、神がファラオの心を頑なにされたことに注目してください。なぜ神はファラオの心を頑なにされるのでしょうか？それは、民がエジプトから出るのを難しくし、短期的には民を苦しめるだけでした。

しかし、神の御計画は神の主権に基づいていることを忘れてはなりません。神の御計画は、時のすべての出来事を御自身の目的と栄光に向かって摂理的に動かす能力と、未来と過去を同時に見ることができる永遠の存在であられることに基づいています。その目的は、イエス様が救い主となられることであり、単にイスラエルをエジプトから解放するという短期的なものではありませんでした。そして、このファラオの心を頑なにすることによって、エジプトとその民は過越の祭りにおいて、神の救いの御計画を間近に見る機会を得ることになります。しかし、この長子が死ぬという預言は、実はモーセの従順さがまだ成長過程にあることを示す出来事に移行します。モーセはここでもまた、自分の失敗と、霊的指導者としての彼の実際の未熟さを私たちに示しているのです。

24-26節です。 24 さて、途中、一夜を明かす場所でのことだった。主はモーセに会い、彼を殺そうとされた。 25 そのとき、ツィポラは火打石を取って、自分の息子の包皮を切り取り、モーセの両足に付けて言った。「まことに、あなたは私には血の花婿です。」 26 すると、主はモーセを放された。彼女はそのとき、割礼のゆえに「血の花婿」と言ったのである。

現代の読者にはわからない詳細がたくさんありますが、そのすべてが、モーセが服従についてまだ学ぶべきことがたくさんあったという事実を指し示しています。イスラエル人であるモーセは、自分の息子が割礼を受けるべきであることを知っていたはずですが、その息子には割礼を授けていませんで

した。どういうわけか、モーセではなく、妻のツィポラが息子に死の危険が迫っていることを神から知らされ、割礼を施します。モーセの不従順のために、ファラオの息子と同じように息子の命も危険にさらされていたのです。しかし、この場合はツィポラの従順が彼を救いました。彼女の**血の花婿**という言葉は、決して否定的にとらえるべきものではなく、彼女の従順な行為によって、二人がより結ばれたという愛情の表れなのである。

その後、モーセがエジプトに戻り、兄弟のアロンと会うまで旅が続くのをみます。モーセが自分は弁が立たず、口が重いと訴えたとき、神は兄のアロンを代弁者として使うように言われたのを覚えていますか。そこでモーセはアロンに会い、何が起こったかを話しました。そして、一緒にイスラエルの指導者たちに会い、神のメッセージを伝え、燃え尽きない柴で神がモーセに与えた3つの奇跡を証拠として与えました。そして、4章 31節に彼らの反応をみます。

**31 民は信じた。彼らは、主がイスラエルの子らを顧み、その苦しみをご覧になったことを聞き、ひざまずいて礼拝した。**

神は400年もの間、ほとんど者たちに対して沈黙を守ってこられました。おそらく、彼らの大半はそうしなかったでしょうが、神についていくらかの知識を子供たちに伝えてきた者たちもいました。しかし、彼らは個人的に神を体験したことはなく、聖書は彼らが奴隷としての苦しみの中でうめいていると描写しています。今、彼らは、神が彼らのうめき声を聞き、彼らの苦しみをご覧になり、そして今、神が彼らのもとに降りてこられるという証拠を手に入れたのです。この節にあるように、神は彼らを顧みられ、ご覧になっているのです。

そして彼らの反応は礼拝することでした。神が私たちの祈りを聞き、神が私たちと私たちの状況を知っておられるという証拠を見たとき、唯一の適切な応答は礼拝です。それは神を賛美することです。彼らの礼拝の心は弱く、すぐに消えてしまうことをみますが、モーセを通しての神との最初の出会いにおいて、民は賛美礼拝をもって喜んで応えました。私たちは、神が私たちの人生において働かれるのを見るとき、同じようにしているでしょうか？ 神を礼拝した彼らは、5章の冒頭でファラオとの最初の接見の準備が整えられました。1-2節を読んで見ましょう。

**出エジプト記 5:1 その後、モーセとアロンはファラオのところに行き、そして言った。「イスラエルの神、主はこう仰せられます。『わたしの民を去らせ、荒野でわたしのために祭りを行えるようにせよ。』」 2 ファラオは答えた。「主とは何者だ。私はその声を聞いて、イスラエルを去らせなければならないとは。私は主を知らない。イスラエルは去らせない。」**

ファラオは神を知りませんが、この後、彼には大きな出会いが待っています。イスラエルの民は神に紹介されたときに礼拝を献げましたが、ファラオは不従順な反応を示しました。モーセは3節で続けて、彼らの自由を求める目的が礼拝であることを明らかにしています。3節にはこうあります。**3 彼らは言った。「ヘブル人の神が私たちと会ってくださいました。どうか私たちに荒野へ三日の道のりを行かせて、私たちの神、主にいけにえを献げさせてください。そうでないと、主は疫病か剣で私たちを打たれます。」**

ファラオとの対決の冒頭で、礼拝という目的がすぐに設定されていることに注目してください。礼拝のためにエジプトを去る必要があったのです。出エジプト記のこの箇所には、今日の私たちにとって鍵となる重要なことが書かれています。正しいことをしたからといって、神を礼拝しようとしたからといって、万事が順風満帆となるわけではありません。私たちが神の言われるとおりにしていても、神のたいなる目的と栄光のために、状況が良くなるどころか悪くなることもあるのです。6-8節のファラオの反応を見てください。**6 その日、ファラオはこの民の監督たちとかしらたちに命じた。 7**

**「おまえたちは、れんがを作るために、もはやこれまでのように民に藁を与えてはならない。彼らが行って、自分で藁を集めるようにさせよ。 8 しかも、これまでどおりの量のれんがを作らせるのだ。減らしてはならない。彼らは怠け者だ。だから、『私たちの神に、いけにえを献げに行かせてください』などと言って叫んでいるのだ。** 神は、このすべての結末がどうなるかを知っておられ、モーセを通してその結末を民に約束されました。しかし、民の目には、レンガを作るだけでなく、そのレンガを作るのに必要なわらを集めなければならなくなったことで、自分たちの生活がはるかに困難になったことだけしか映りませんでした。そこで彼らは、出エジプト記5章19節で、モーセにこれからもたられる多くの不平不満の最初の苦情を申し立てました。**19 イスラエルの子らのかしらたちは、「おまえたちにその日その日に課せられた、れんがの量を減らしてはならない」と聞かされて、これは悪いことになったと思った。**



<sup>20</sup> 彼らは、ファラオのところから出て来たとき、迎えに来ていたモーセとアロンに会った。<sup>21</sup> 彼らは二人に言った。「主があなたがたを見て、さばかれますように。あなたがたは、ファラオとその家臣たちの目に私たちを嫌わせ、私たちを殺すため、彼らの手に剣を渡してしまったのです。」  
救い出そうとはなさいません。」

そして、それはイスラエルの人々だけではありませんでした。もっとよく理解していたはずのモーセでさえ、神に仕える価値があるのかどうか疑問に思うこの自然な反応を免れることはできませんでした。22節はこう続けます。

**22** それでモーセは主のもとに戻り、そして言った。「主よ、なぜ、あなたはこの民をひどい目にあわせられるのですか。いったい、なぜあなたは私を遣わされたのですか。<sup>23</sup> 私がファラオのところに行って、あなたの御名によって語って以来、彼はこの民を虐げています。それなのに、あなたは、あなたの民を一向に救い出そうとはなさいません。」

あなたは今日、イスラエルの民やモーセと同じ立場にいるかもしれません。あなたは御子イエス・キリストを通して神を信頼しています。神の御言葉と、その御言葉を通して聖霊があなたに語りかけていると信じる通りに従順に生きようとしています。しかし、人生は悪化しているように見えます。結婚生活は一向に良くなりません。仕事はうまくいきません。経済的に余裕がありません。あなたの患う癌や愛する人の癌が癒されません。慢性的な痛みは一向にくなりません。そして、あなたが神に心を向けて祈るたびに繰り返し湧き出るのは、この同じ質問です。なぜ？なぜ私がこんな目に？なぜ今？なぜこんなことが起こるのですか？神様、いつ御手を働かせてくださるのですか？ローマ人への手紙8章28節で、あなたは私の苦しみを知っておられると言われ、約束しておられるのですから。**ローマ人への手紙 8章28節** 神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。そのような疑問の祈りは神の耳に入らないわけではありません。私たちは神が何をされておられるのか、いつも理解できているわけではありません。神の契約、すなわち神の民に対する忠実な愛に基づいて結ばれた約束は、決して変わることはありません。私たちの救いは、イエス・キリストを通して私たちと結ばれた神の契約に基づいています。私たちはこれを新しい契約と呼んでいます。神はその新しい契約をもたらすためにアブラハムと契約を結ばれましたが、今、モーセにイスラエルの民に対するその契約を忘れ去ってはいないことを思い出させます。6章1節を見てください。

**出エジプト記 6:1** 主はモーセに言われた。「あなたには、わたしがファラオにしようとしていることが今に分かる。彼は強いられてこの民を去らせ、強いられてこの民を自分の国から追い出すからだ。」**2** 神はモーセに語り、彼に仰せられた。「わたしは主である。**3** わたしは、アブラハム、イサク、ヤコブに全能の神として現れたが、主という名では、彼らにわたしを知らせなかった。**4** わたしはまた、カナン之地、彼らがとどまった寄留の地を彼らに与えるという契約を彼らと立てた。」

神はイスラエルを忘れてはおられませんでした！出エジプト記で何度も見てきたように、神はご自分の民のために行動されるのです。アブラハム、イサク、ヤコブは弱い神には仕えませんでした。モーセもそうであり、私たちもそうです。モーセが初めて聞いた神御自身の御名を明かされる前に、神はヘブライ語で全能の神、エル・シャダイと自らを明かされました。これは、神が御自分の民のために用いられる力、強さ、充足感を示しています。

神の御力は無限です。私たちは、神は全能であると言います！そして、私たちが救い出すため、あるいは私たちを支えるために、御自身の栄光を現すためにその御力を用いられます。解放されるだけでなく、困難な時に支えられるために神は御力を用いられることを私たちは決して忘れてはなりません。使徒パウロは、コリントの信徒への手紙二12章にあるように、ある種の肉体的な困難に直面した時に神はパウロをそれから解放されたのではなく、彼の状況に十分な恵みを与えられました。

**コリント人への手紙 第二 12章8節** この使いについて、私から去らせてくださるようにと、私は三度、主に願いました。**9** しかし主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は弱さのうちに完全に現れるからである」と言われました。ですから私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。そこで神は、その力を用いて民を救い出し、約束を守ることを約束され、モーセはこのことを民に伝えます。6章の8-9節を見てください。

8 わたしは、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓ったその地にあなたがたを連れて行き、そこをあなたがたの所有地として与える。わたしは主である。』」 9 モーセはこのようにイスラエルの子らに語ったが、彼らは失意と激しい労働のために、モーセの言うことを聞くことができなかった。

民はもう耳を貸そうとしますが、神は13節で、モーセとアロンにまだやるべきことがあると告げられます。

13 主はモーセとアロンに語り、イスラエルの子らをエジプトの地から導き出すよう、イスラエルの子らとエジプトの王ファラオについて彼らに命じられた。6章では、アロンとモーセの家系を示す系図が続きます。これは奇妙に思えるかもしれませんが、神がモーセを通してファラオに直接挑戦する前のこの時点で、モーセとアロンの家系を明確にすることには意味があります。この書の読者にとって、神の民、イスラエル民族としての血統とアイデンティティは非常に重要なものでした。ですから、モーセとアロンが本当に純粋にアブラハムの家系であることを立証する必要がありました。

この系図は読みあげませんが、アロンとモーセがヤコブの三男レビの家系であることを指摘する明確な意図があります。祭司として立てられるのはレビの一族なので、イスラエル民族のための最初の大祭司としてのアロンは、この血筋から直接出る必要がありました。この祭司の血統を指摘することによって、モーセが神の御前で民に対して行う祭司的なことが可能になるのです。第7章は、私たちがすでにここまで聞いてきたことを繰り返し、モーセが何をするように召されているのか、つまり神の代弁者となること、を私たちに再確認させることから始まります。モーセではなく神が英雄なのです。しかし、モーセは本意ながらも従順な僕なのです。出エジプト記 7章 6-7節に記されています。

6 そこでモーセとアロンはそのように行った。主が彼らに命じられたとおりに行った。 7 彼らがファラオに語ったとき、モーセは八十歳、アロンは八十三歳であった。

モーセは、今、物事がうまくいっていないように見えることを心配する必要はないのです。モーセは、ファラオの反応や、神がすぐに働かれるのを見ない民の気乗りしない消極的な反応を心配する必要はないのです。モーセがすべきことは、従順であることだけです。解放が訪れるまでには多くのことが起こりますが、神は今も働いておられます。私たちもそのことに慰めを得ることができます。従順であることは、人生が容易になることを意味しません。イエス様につき従うことによって、何の障害もない楽な道を歩むことになるわけではありません。

繁栄の福音は間違っており、それを説く者は偽りの教師です。神は、私たちが直面するすべての悪から救い出してくださいと約束されておられません。しかし、神は私たちのために全能の神、すなわちエル・シャダイとなってくださいと約束しておられます。神は、私たちの救いのために、あるいはそのような状況を通して私たちを支える恵みをお与えになるために、私たちの状況の一つひとつに無限の御力と強さをもたらしてくださいます。ですから、強くあり続け、進み続け、イエスに信頼し続けてください。

詩篇 114篇 14節 主は私の力 またほめ歌。 主は私の救いとなられた。

神は忘れておられません。モーセとイスラエルの民を顧みられたように、神はその御力をもってあなたがたを顧みられます。私たちが聖餐式

で祝うイエス・キリストの十字架ほど、神が常に民をご覧になり、民を覚え、心に留めてくださることを示すものではありません。神は、三位一体の第二位格である子なる神イエスを遣わし、人となって十字架上で私たちの罪を負わされました。この神御自身からの訪問によって、人は、罪を悔い改め、イエス様を私たちの主であり救い主として受け入れることによって、御子なる神、イエス・キリストを信じることによって、神のもとに来ることができるのです。

今日、あなたがイエス様を信じ従い、その後に従順に洗礼を受けられていらっしゃるなら、ぜひこの食事に参加してください。親御さんにとって、お子さんにこの食事の大切さを教える最善の方法は、準備ができていない場合は参加させないことです。私が祈った後、執事が礼拝堂の四隅からパンと杯をお配りします。一緒に主のパンと杯に与りましょう。祈りましょう。

## Exodus 4:18-7:7 The Reluctant People

Last week in Exodus, we saw God introduce himself to Moses and call this man to lead God's people out of Egypt. But we also saw that Moses tried to run away from God's call, to find every excuse not to be God's agent. But he finally relents and obeys and in the next section of Exodus that we will look at today from chapter 4, verse 18 to chapter 7, verse 17. Here we see Moses, the reluctant leader, take his message of deliverance to God's people who also demonstrate the same reluctance to trust and obey God's message. Let's begin by reading verses 18-20 of Exodus 4. <sup>18</sup>Moses went back to Jethro his father-in-law and said to him, "Please let me go back to my brothers in Egypt to see whether they are still alive." And Jethro said to Moses, "Go in peace." <sup>19</sup>And the Lord said to Moses in Midian, "Go back to Egypt, for all the men who were seeking your life are dead." <sup>20</sup>So Moses took his wife and his sons and had them ride on a donkey, and went back to the land of Egypt. And Moses took the staff of God in his hand. Here we see that although initially reluctant to follow God, Moses is obedient. The shepherd's staff is important because it is key to the three miracles he is told that God will give him to prove God's words to the people of Israel and eventually to Pharaoh. This staff that he would have used to lead sheep, would become a sign of his leadership of the people of God now.

But before Moses leaves, God actually tells him exactly how it will go for him in Egypt in verses 21-23. <sup>21</sup>And the Lord said to Moses, "When you go back to Egypt, see that you do before Pharaoh all the miracles that I have put in your power. But I will harden his heart, so that he will not let the people go. <sup>22</sup>Then you shall say to Pharaoh, 'Thus says the Lord, Israel is my firstborn son,' <sup>23</sup>and I say to you, 'Let my son go that he may serve me.' If you refuse to let him go, behold, I will kill your firstborn son.'" Moses was actually told exactly the way things would unfold when he asked Pharaoh to let the Israelites go. God would actually harden his heart against this, and it would ultimately take losing the firstborn son of every Egyptian house in order to change his heart to let the people go out from Egypt. We will discuss it more when we look at the 10 plagues, but notice that God will harden his heart. Why would God harden Pharaoh's heart? That just makes it harder on his people to leave, and actually causes them more pain in the short term. But we have to remember that God's plan is based on his sovereignty. His plans are based on his eternal existence with his ability to see the future and the past all at the same time, and providentially move all of the events of time towards his purpose and glory. His purpose was Jesus, a Savior, not just the short term freedom of Israel from Egypt. And by taking Egypt and his people through this hardening of Pharaoh's heart, they will have the opportunity to see God's salvation plan up close in the Passover. But this prophecy of the first born dying actually transitions to an event that happens on the way that shows that Moses is still growing in his obedience. Again, Moses shows us a failure on his part, and just how weak of a spiritual leader he really is. Verses 24-26 say, <sup>24</sup>At a lodging place on the way the Lord met him and sought to put him to death. <sup>25</sup>Then Zipporah took a flint and cut off her son's foreskin and touched Moses' feet with it and said, "Surely you are a bridegroom of blood to me!" <sup>26</sup>So he let him alone. It was then that she said, "A bridegroom of blood," because of the circumcision. There is a lot going on here with a lot of details lost to modern readers, but all of it points to the fact that Moses still had much to learn about obedience it seems. Apparently Moses as an Israelite would have known that his sons were to supposed to be circumcised, but he had not done it to his son. Somehow his wife Zipporah knows from God that their son was in danger of death, not Moses as it may seem, and she performs a circumcision. Because of Moses's disobedience, his son's life is in jeopardy just like Pharaoh's son. But in this case Zipporah's obedience saved him. Her words of "bridegroom of blood" are not to be taken negatively but a sign of affection that this connected them together more by her act of obedience.



Then we see the journey continue as Moses returns to Egypt and meets with his brother Aaron. Remember God told Moses when he complained that he couldn't speak to use his brother Aaron as his mouthpiece. So he meets with Aaron and tells him what has happened. Then together they meet with the leaders of Israel and tell them about God's message, and give them proof with the three miracles God gave Moses at the burning bush. And we see their response in 4:31 <sup>31</sup> **And the people believed; and when they heard that the Lord had visited the people of Israel and that he had seen their affliction, they bowed their heads and worshiped.** God has been silent to most of them for 400 years. Perhaps they have passed on some knowledge of God to their children, although even that seems unlikely for most of them. But they have not personally experienced God and the Bible has described them as groaning under the pain of their slavery. Now they are getting proof that God had heard their groaning...he had seen their suffering, and now he is coming down to them. He is visiting them as this verse says. And their response is worship. When we see proof that God hears our prayers, and that God knows us and our circumstances, the only proper response is worship...it is to glorify God. We will see that their worship is weak, and disappears quickly, but in this initial meeting with God through Moses, the people respond gladly with worship. Have we done the same when we see God at work in our lives?

Having worshipped God, they were prepared for their first interaction with Pharaoh as chapter 5 opens. Let's read verses 1-2. **5 Afterward Moses and Aaron went and said to Pharaoh, "Thus says the Lord, the God of Israel, 'Let my people go, that they may hold a feast to me in the wilderness.'"** <sup>2</sup> **But Pharaoh said, "Who is the Lord, that I should obey his voice and let Israel go? I do not know the Lord, and moreover, I will not let Israel go."** Pharaoh doesn't know God, but he is about to meet him in a big way. The Israelites worshipped when they were introduced to God, but Pharaoh has a response of disobedience. As Moses continues in verse 3 he makes clear that the purpose of their request for freedom is worship. Verse 3 says, <sup>3</sup> **Then they said, "The God of the Hebrews has met with us. Please let us go a three days' journey into the wilderness that we may sacrifice to the Lord our God, lest he fall upon us with pestilence or with the sword."** Notice here at the beginning of their confrontation with Pharaoh the goal is set right away of worship. They needed to leave Egypt in order to worship.

Then comes what is **key for us to see today** in this section of Exodus. Just because we do the right thing, just because we seek to worship God, does not mean that everything just falls into place. Sometimes God's greater purposes and glory means that we can be doing exactly what he tells us and circumstances can get worse instead of better. Look at Pharaoh's response in verses 6-8. <sup>6</sup> **The same day Pharaoh commanded the taskmasters of the people and their foremen,** <sup>7</sup> **"You shall no longer give the people straw to make bricks, as in the past; let them go and gather straw for themselves."** <sup>8</sup> **But the number of bricks that they made in the past you shall impose on them, you shall by no means reduce it, for they are idle. Therefore they cry, 'Let us go and offer sacrifice to our God.'** God knew what the end result of all this would be, and he had promised that end result to the people through Moses. But what the people saw from their perspective was that their lives had just gotten far more difficult as they now had to not only make bricks but gather the straw needed to make those bricks. So they bring their first of many complaints to come to Moses in verse 19 of Exodus 5. <sup>19</sup> **The foremen of the people of Israel saw that they were in trouble when they said, "You shall by no means reduce your number of bricks, your daily task each day."** <sup>20</sup> **They met Moses and Aaron, who were waiting for them, as they came out from Pharaoh;** <sup>21</sup> **and they said to them, "The Lord look on you and judge, because you have made us stink in the sight of Pharaoh and his servants, and have put a sword in their hand to kill**

us.” And it wasn’t just the people of Israel… even Moses who should have known better was not spared this natural reaction to question whether it was worth serving God. Verse 22 continues, <sup>22</sup>Then Moses turned to the Lord and said, “O Lord, why have you done evil to this people? Why did you ever send me? <sup>23</sup>For since I came to Pharaoh to speak in your name, he has done evil to this people, and you have not delivered your people at all.” You may be in the same position as the Israelites and Moses today. You are trusting God through his Son, Jesus Christ. You are trying to live a life of obedience to his Word and to how you believe the Holy Spirit is speaking to you through that Word. But life seems to be getting worse. Your marriage is not improving. Your job is not getting better. Your finances are not enough. Your cancer or your loved ones cancer is not being healed. Your chronic pain remains. And everytime you turn to God in prayer, what comes out is this same question – why. Why me? Why now? Why is this happening? When will you act, God, since you say you know what I’m going through and promise in [Romans 8:28](#), <sup>28</sup>...that for those who love God all things work together for good, for those who are called according to his purpose.?

Those prayers of questioning do not fall on deaf ears, but we don’t always see or understand what God is doing. God’s covenant, his promises made based on his faithful love for his people never change. Our salvation is based on God’s covenant he made with us through Jesus Christ. We call it the New Covenant. God had made a covenant with Abraham to bring about the New Covenant, and he now reminds Moses that he has not forsaken that covenant to the people of Israel. Look at chapter 6, verse 1. <sup>6</sup>But the Lord said to Moses, “Now you shall see what I will do to Pharaoh; for with a strong hand he will send them out, and with a strong hand he will drive them out of his land.” <sup>2</sup>God spoke to Moses and said to him, “I am the Lord.<sup>3</sup>I appeared to Abraham, to Isaac, and to Jacob, as God Almighty,<sup>[a]</sup> but by my name the Lord I did not make myself known to them. <sup>4</sup>I also established my covenant with them to give them the land of Canaan, the land in which they lived as sojourners. God had not forgotten Israel! He was remaining faithful to his covenant, and as we have seen over and over now in Exodus, God would act on behalf of his people. Abraham, Isaac, and Jacob did not serve a weak God. Neither did Moses and neither do we. Before God revealed his personal name that Moses heard for the first time, God had revealed himself as God Almighty, *El Shaddai*, in Hebrew. It shows his power, his strength, his sufficiency that he has to use on behalf of his people. God’s power is unlimited. We say that he is omnipotent, all-powerful! And he will use that power to deliver us or to sustain us, whichever will give him more glory. We should always remember that – his power is not just to deliver but to sustain in the difficult times. The apostle Paul faced some sort of physical difficulty we read about in 2Corinthians 12 and saw God not deliver from but give sufficiency in his circumstances. [2Corinthians 12:8-9](#) says, <sup>8</sup>Three times I pleaded with the Lord about this, that it should leave me. <sup>9</sup>But he said to me, “My grace is sufficient for you, for my power is made perfect in weakness.” Therefore I will boast all the more gladly of my weaknesses, so that the power of Christ may rest upon me. So God promises to use his power to deliver his people and keep his promise, and Moses tells this to the people. Look at verses 8-9 of chapter 6. <sup>8</sup>I will bring you into the land that I swore to give to Abraham, to Isaac, and to Jacob. I will give it to you for a possession. I am the Lord.” <sup>9</sup>Moses spoke thus to the people of Israel, but they did not listen to Moses, because of their broken spirit and harsh slavery. The people now refuse to listen, but God tells Moses and Aaron they still have a job to do in verse 13. <sup>13</sup>But the Lord spoke to Moses and Aaron and gave them a charge about the people of Israel and about Pharaoh king of Egypt: to bring the people of Israel out of the land of Egypt.

Chapter 6 continues with a genealogy that shows the family line for Aaron and Moses. Now this may seem odd, but it makes sense at this point before God directly challenges Pharaoh through Moses that the clear family line of Moses and Aaron be established. To the readers of this book in years to come, their heritage and identity as the people of God, the nation of Israel was very important. So, it needed to be established that Moses and Aaron were indeed purely from the line of Abraham. We won't read this genealogy, but there is a clear intent to point out that Aaron and Moses were from the line of Levi, the third son of Jacob. It is the family of Levi who will be set aside as priests, so Aaron as the first High Priest for the nation of Israel needs to be directly from this line. By pointing out this priestly lineage, it also makes it possible for Moses to do the priestly things he does before God to the people.

Chapter 7 begins by simply reiterating what we have already heard up to this point, and reaffirming for us what Moses is called to do – be the mouth piece for God. Moses is not the hero, God is. But Moses is the obedient although reluctant servant. So we read in [Exodus 7:6-7](#), <sup>6</sup> [Moses and Aaron did so; they did just as the Lord commanded them.](#) <sup>7</sup> [Now Moses was eighty years old, and Aaron eighty-three years old, when they spoke to Pharaoh.](#) Moses does not have to worry that things do not seem to be going well right now. Moses does not have to worry about Pharaoh's response or the reluctant response on the part of the people as they don't see God immediately work. All Moses has to do is be obedient. Much will happen before deliverance comes but God is still at work. We can take comfort in that as well. Being obedient does not mean that life is easy. Following Jesus does not take us down the easy path with no obstacles. The prosperity gospel is wrong and those who would preach it are false teachers. God does not promise to deliver us from every evil thing that we face. But he does promise that he will be for us God Almighty – *El Shaddai*, who brings infinite power and strength to bear on each one of our circumstances, either for our deliverance or to give us the grace to sustain us through them. So stay strong, keep going, keep trusting in Jesus. As [Psalm 118:14](#) tells us, [“The LORD is my strength and my song; he has become my salvation.”](#) God has not forgotten, and he will visit you with his strength just as he visited Moses and the people of Israel. There is no greater demonstration of that visitation for his people than the cross of Jesus Christ that we celebrate in communion. God sent Jesus, the second person of the Trinity, God the Son, to become human and bear our sins on the cross. This visitation from God himself makes it possible for humans to come to God through faith in the God the Son, Jesus Christ by repenting of our sins and accepting Jesus as our Lord and Savior. If you have done that today and been obedient after that in baptism then I invite you to participate in this meal. For parents, the best way to teach your children the importance of this meal is to not allow them to participate if they are not ready. After I pray, the Deacons will serve the bread and the juice from the four corners of the sanctuary and then we will eat together and drink together. Let's pray.